



2025~2026年度 国際ロータリー会長メッセージ



国際ロータリー会長 フランチェスコ・アレツツォ

2025~2026年度 地区基本方針

「未来へつなぐ」

RI第2650地区ガバナー 小崎 学

こ(ろ)ころ ポルト一口大理石(ポルトウル)



作: 杉村 仁 会長

- 会長 杉村 仁 副会長 佃 尚彦 副会長 安井 清悟 会長エレクト 井上 直治 直前会長 佐川 寛一
幹事 加藤 又拡 会計 木村 和弘 会場監督 丸山 佳映 理事 井上 直治 理事 岡崎 義幸
理事 東山 光秀 理事 安井 清悟 理事 松中 隆 会報委員長 岡崎 義幸

第30回(2577回)例会プログラム令和8年4月23日(木)

- 1. 開会宣言 点鐘
2. ソング 「奈良西RCの歌」
3. 来訪者紹介
4. 出席報告
5. 会長の時間
6. ニコニコ報告
7. 委員会報告・幹事報告
8. 卓話:「四国巡礼について」松中 隆 会員
9. 閉会宣言 点鐘

第29回(2576回)例会報告 2026. 4. 16 ソング

「我らの生業」

出席報告

Table with 6 columns: 会員数, 出席計算免除会員数, 出席会員数, 欠席者数, 出席率. Rows: 通算 2576 回, 通算2574回修正

会長の時間 (代理:安井副会長)

今日の会長の時間は、杉村会長が少し遅れられますので、安井が代理で話をさせていただきます。

先週末に奈良市北部のRC会長幹事が集まる鷗尾の会が奈良RC主催でJWマリオットにて開催されました。今年度と次年度の会長幹事が一同に会する会議です。今年度の会長幹事の皆様は、残りの日数を数えていくような感じですが、次年度の会長幹事の諸兄はこれからの事を考える最終の期間に入っているように思えました。会長エレクトの皆様と話をしましたが用意万全に整っている方からマダマダこれからの段取りです、って言うておられるエレクトの方もおられたり、各クラブは千差万別ですね。各クラブが奉仕の精神を同じくしながら、それぞれの奉仕事業にあたって行かれるのはやはりロータリーならではと思います。会議の終盤で鷗尾の会が主催するゴルフ会を今後どうするかが議題に上がりました。「主催するクラブにとって重荷になっていないか」との事でしたが、各クラブの会長さんからは「親睦を深めるためには良い事」との意見や「ゴルフ会だけでは無くて他の親睦の仕方も検討してみてもは」などの話が出ました。ゴルフ会については今後も継続される事に成っています。

それと、私が次年度のガバナー補佐を拝命した関係から頻りに地区に参るようになりました。何回かの研修を経て感じている事は地区の考え方や奈良西RCの考え方に少し乖離がある様に思います。ロータリーは会員自ら奉仕することが求められていますので、それはそれで構わないとは思いますが、地区の考え方をクラブにきっちり伝えることが大事な事と思います。クラブもその考え方を理解した上で運営にあたって行ってもらえる事と思っています。またこの様な話をする機会を頂ければゆっくりとお話をしていきたいものです。今日の例会への御参会に感謝します。



川崎祥記P会長、東山光秀会員、小松玲子会員、木村和弘会員、加藤又広会員、岡崎義幸会員、井久保裕也会員

松中さん、昨日の鷗尾の会優勝おめでとうございます!!

中川さん、内輪会優勝おめでとうございます。

井久保さん、本日卓話よろしくお願いたします!!

松中隆会員

鷗尾の会、メンバーに恵まれて優勝することができました。皆さん、ありがとうございます。

4月15日鷗尾の会ゴルフコンペ 柳生CC、当クラブから7名参加致しました。松中会員がシニアの部で優勝されました。おめでとうございます。

6月11日家族親睦会は近隣での食事会を予定しております。



卓話

「自己紹介」

井久保 裕也 会員

皆さま、こんばんは。本日はこのような機会をいただき、誠にありがとうございます。ただいまご紹介にあずかりました井久保裕也でございます。改めてよろしくお願い申し上げます。

本日は、立派な成功談をお話するわけではありません。私のこれまでの人生の中で経験してきた「災害」「別れ」「地域との関わり」これらを振り返りながら、

「人は何のために地域に生きるのか」

「なぜ地域を守るのか」

この二つについて、皆さまと共に考える時間できればと思っております。どうぞ最後までよろしくお願い申し上げます。

私は昭和44年、1969年3月、都祁の地に生まれました。祖父母、父母、姉、そして私の6人家族。三世代同居の中で育ちました。自然に囲まれた穏やかな地域である一方で、その自然は時に厳しさも突きつけてきます。

中学2年のとき、大雨により自宅が床上浸水しました。深夜2時ごろ、父の叫び声で目が覚め、ベッドから足を下ろした瞬間の“水の冷たさ”。部屋の外を見ると、父の膝上まで濁流が来ていました。父の判断で避難。豪雨の中、家族6人がパジャマ姿・裸足で山を越える—今思えば、極限の状況でした。



卓話(続き)

その時、対岸から車のヘッドライトで私たちの逃げ道を照らしてくれた方がいました。その光のおかげで、私たちは無事に避難することができました。夜が明け、初めて分かった現実。土石流による川のせき止め—それが原因でした。その後の片付け。地域の方々が当たり前のように手を差し伸べてくれました。「大丈夫か」「こっちは任せとけ」「風呂入りに来いよ」あの言葉の一つひとつが、どれほど心に沁みか。このとき私は、はっきりと感じました。「人は支え合って生きている」そして同時に、「いざという時に動ける人間になりたい」これが、私の原点です。

その後、縁あって大阪で働きましたが、祖父の他界をきっかけに地元へ戻りました。そして1994年、23歳のとき 都祁消防団に入団しました。あのとき、ヘッドライトで助けてくれた方—その息子さんに誘われたのがきっかけでした。人生は巡るものだと、今でも思います。入団後、阪神・淡路大震災、数々の火災、事件、そして家族との別れ—特に、姉を亡くした出来事は、私の人生の価値観を大きく変えました。「当たり前の日常は、当たり前ではない」そう痛感しました。

そして2011年、東日本大震災。テレビに映る光景を見たとき、確信したことがあります。「災害は想定を超える」そしてもう一つ。「最後に人を守るのは、地域の力である」行政だけでは守れない。制度だけでも守れない。人を守るのは、“人と人のつながり”です。私は消防団として、「支える側に立つ」という道を選び続けてきました。それは使命感というよりも、あの日、助けてもらったことへの恩返しです。

これからの時代、災害はさらに激しくなると言われています。一方で、地域のつながりは弱くなっているとも言われます。だからこそ、必要なのは—「誰かがやる」ではなく「自分がやる」という意識ではないでしょうか。

ロータリークラブの皆さまの活動は、まさにその実践であると感じております。

結びに、中学2年生のあの日に感じた無力さと、その中で受けた温かさを忘れることなく、これからも地域のために、人のために、一歩を踏み出す側であり続けたいと思います。

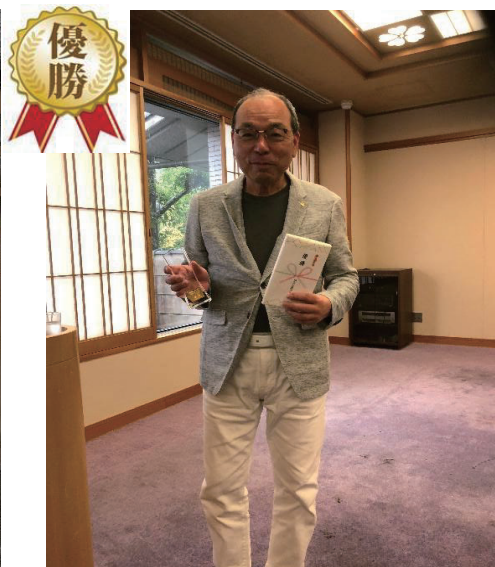
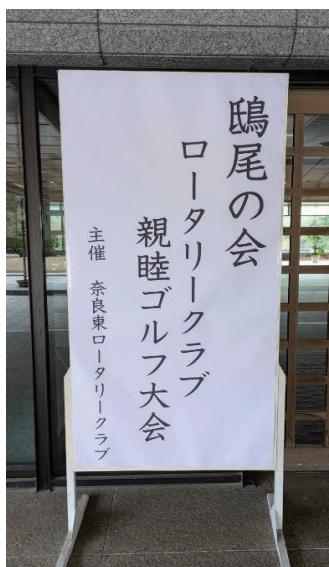
本日はご清聴、誠にありがとうございました。



鷗尾の会ゴルフ大会

4月15日に奈良柳生カントリークラブで鷗尾の会RCゴルフ大会が行われました。

シニアの部では、奈良西RCから松中会員が優勝されました！松中会員、おめでとうございます！



第4回内輪会

4月15日に第4回内輪会を、鷗尾の会ゴルフ大会と同時に開催致しました。
中川会員が優勝されました！中川会員、おめでとうございます！



第31回（通算2578回）例会予告
例会日 令和8年5月14日（木）

卓話：「衛星クラブについて」

安井 清悟 副会長

◎4月30日・5月7日は休会です